

大字 沼田

出戸田沢・出戸田沢の端村沼山と入田沢の集落は江戸時代まで大沼郡中荒井組に属し、明治三年九月組制が廃止となり区制が施行され、出戸田沢・入田沢は第十七区となった。

その後幾度か変遷があり、明治八年十一月の合併改称により出戸田沢村・沼山分・入田沢村の三集落をもって沼田村となった。

明治二十二年三月町村制実施と共に旧村名が大字名となり現在に至っている。
(大沼郡誌)

出戸田沢 (沼田甲)

地名の由来不詳

出戸という名は「山の表」と云う意を表したのではないか。

(奥州会津新鶴村誌)

街道端

明治十六年八月十三日出戸田沢村耕地田畑配布元帳より調べ

1番〜52番まで 田、一部畑なり。

前田

1番〜49番まで、田、一部畑なり。

上中谷地

1番〜75番まで、田、一部畑なり。

金子澤

1番〜43番まで、個人所有林

芦沢

1番〜44番まで、畑、一部田・山林

木留場

1番〜137番まで。畑・草地

延享元年出戸田沢村御検地配布帳に見える

●遺跡 木留場遺跡 縄文・奈良・平安時代

天神堂

1番〜24番まで、山・林

上田澤川

1番〜80番まで。田、一部畑

集落の西の田沢川に二つの橋があり、上ノ橋・下ノ橋などからつけられた地名。

東大窪

1番〜60番まで、畑・林・藪

近前田 (現 前林50番地〜51番地)

畑地造成にて変更。田・畑・林・藪。

近前田・中前田・遠前田の地名があり、村前にあたり村より